

JGN II イベント利用報告書

イベント番号(イベントー014)

提出日 平成 16 年 11 月 3 日

1 イベント名

情報通信学会関西支部大会

2 イベント概要

「地域の振興・活性化とメディアの役割」をテーマとして開催される情報通信学会関西支部平成 16 年度支部大会を、メイン会場である高知工科大学とサテライト会場の大阪大学中之島センターとの映像を双方向で配信 (DVTS) することにより、両会場での大会参加を可能にできた。この映像配信実験により、高知県新情報ハイウェイとの相互接続と高知ー大阪間の映像転送特性を確認した。

●開催日時：平成 16 年 9 月 10 日

●メイン会場：高知工科大学 参加者：約 60 名

●サテライト会場：大阪大学中之島センター 参加者：約 30 名

●プログラム

(1)開会挨拶 (13:15~13:20) 雄山真弓 支部長

(2)特別講演 (13:30~14:30) 橋本大二郎 (高知県知事)

(3)パネルディスカッション (14:45~16:45)

・総合司会：藤田ゆみ子 (高知さんさんテレビ株式会社 チーフアナウンサー)

●後援 総務省 (近畿総合通信局、四国総合通信局)、高知県

●協賛 高知工科大学、高知さんさんテレビ株式会社

特別講演およびパネルディスカッション概要

「地方の時代」とか「地方分権」とか言われながら、実態は、行政に限らず、いろいろな分野で東京への集中化が一層加速している。また IT バブルがはじけた後、長らく景気の低迷が続いており、一部明るい兆しが見えてきたとは言え、地方経済はいまだ厳しい状況が続いている。

メディアの世界においては、TV 放送の地上波デジタル放送が昨年末より 3 大都市圏で開始され、インターネットの普及と相まって、各種分野でデジタル化の進展が加速されている。

このような状況の中で、地域の振興や活性化を図るためにどのような方策が有効であるか、その中で各種メディアはどのような役割が果たせるのか、また果たすべきかをテーマに、高知県知事橋本大二郎氏の特別講演およびこの分野の専門家によるパネルディスカッションを行った。

橋本知事の特別講演：県内人口の約 40%が高知市に集中し、山間部の過疎化、高齢化の進展など日本の縮図のような状況をかかえ、知事に就任以来、情報化の問題は重要なテーマとして取り組んで来たこと、その成果として、TV 放送 Ch の増加、情報ハイウェイの整備やその活用を行って来た、今後はデジタル化社会への移行に伴い行政の様々な分野 (事例として医療、教育をあげられた) で活用していく考えであることなどについてお話を頂いた。(講演概要別稿参照)

パネルディスカッション：高知県以外の各地での取り組み、十和村の CATV の活用、地上波デジタル化への移行、大学と地域の協力など様々な視点から議論がなされた。この中で、地域の振興を図るにはその地に住み着いて様々な取り組みを行う人材の育成が重要であることも議論された。

ネットワーク環境：

メイン会場とサテライト会場を双方向接続し DVTS 転送により実施した。サテライト会場では、メイン会場とほぼ同様に各主演者の話を聞くことができ、さらに討議にも参加できた。また、サテライト会場に送信された音声・映像を大阪大学中之島センターのサーバを介してライブ配信し、リアルタイムでどこからでも聴講可能とした。

3 イベントのスケジュール

情報通信学会関西支部大会：平成 16 年 9 月 10 日

試験：平成 16 年 8 月 26 日

4 利用者（イベントの責任者）

所属機関：高知工科大学

氏名：島村和典

所属部署等、役職：情報システム工学科、学科長・教授

5 報告者（イベントの利用にかかる連絡窓口）

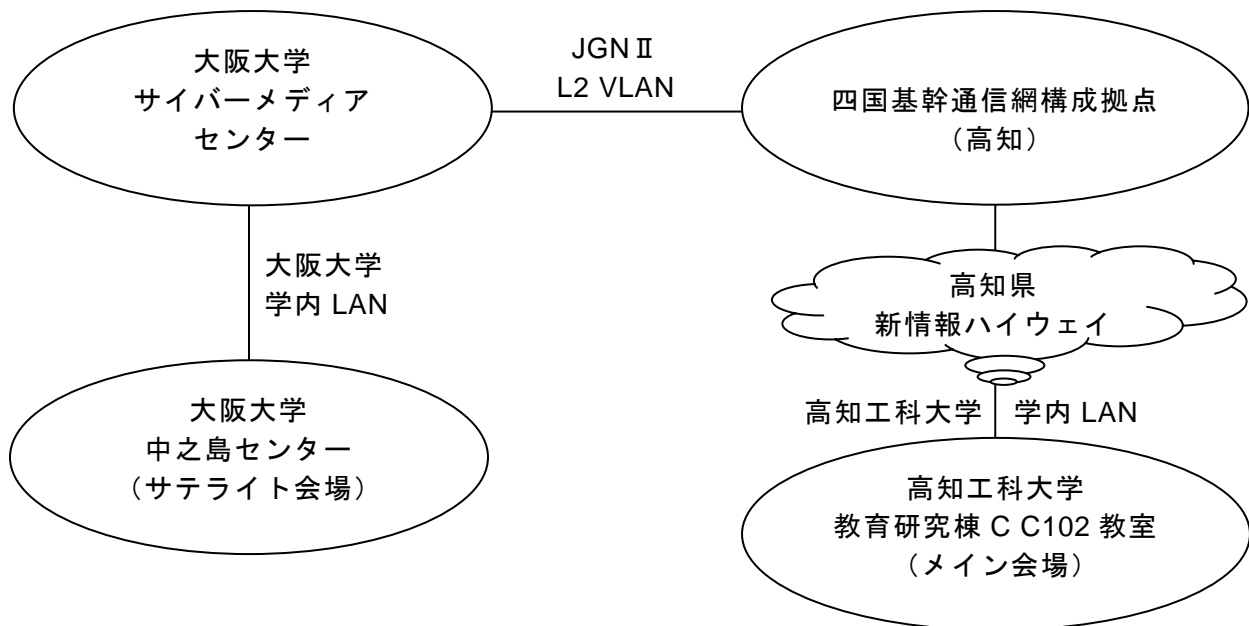
所属機関：高知工科大学（高知 JGN II リサーチセンター）

氏名：福本昌弘

所属部署等、役職：情報システム工学科、助教授

6 トポロジ(NW 及び機器構成詳細)

ア. 接続概念図



7 イベントの様相



メイン会場



橋本知事講演



パネルディスカッション



サテライト会場 (転送映像)



質疑応答